

## 取扱説明書(日野編)

# G-scvu

もくじ	1
ご使用になる前に	2
はじめに	3
安全にご利用になるために	4
対応システムと診断機能	6
対応車種一覧	7
診断コネクタ取り付け位置	
診断の準備	13
車両と接続します	14
電源のON/OFF	17
車種、システムを選択します	
診断機能	25
自己診断機能	
データ表示機能	
保存データ表示機能	50
アクティブテスト機能	57
作業サポート機能	61
識別情報表示機能	

# ご使用になる前に

はじめに	P3
安全にご利用になるために	P4
対応システムと機能	P6
対応車種一覧	P7
診断コネクタ取り付け位置	P11

## 

本取扱説明書では、日野車の診断方法に関してご説明させていただきます。 ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

## C-scn 安全にご利用になるために

#### ご使用になる前に

- ■本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産 への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記 号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、 被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。





● 日野車または、日野製造のOEM車以外に使用しないでください。

## **C-scn**対応システムと診断機能

ご使用になる前に

## 対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

デュトロ、リエッセ2

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	•	•	•	•	•
インバータ	•	_	—	_	•
ハイブリット	•	—	—	—	•
バッテリー	•	_	—	—	•
AT	•	•	—	—	_
ABS	•	•	•	•	—
SRSエアバッグ	•	_	—	_	_

### レンジャー、ブルーリボンシティー、ポンチョ、メルファ、リエッセ

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	•	•	•	•	•
インバータ	•	—	—	—	
ハイブリット	•	—	—	—	
バッテリー	•	—	_	—	
ABS	•	•	•	•	_
SRSエアバッグ	•	—	—	—	—

プロフィア、セレガ

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	•	•	•	•	•
インバータ	•	—	—	—	•
ハイブリット	•	—	—	—	•
バッテリー	•	—	—	—	•
プロシフト	•	—	—	•	_
ABS	•	_	—	_	_
SRSエアバッグ	•	—	—	—	—

※一部の車種では対応していないシステムがあります。

# G-scvu

## 対応車種一覧

ご使用になる前に 対応年式 車種名 エンジン型式 車両型式 西暦 和暦 07.05~ H19.05~ ABG-TRU 2TR-FE BDG-XZU N04C 06.09~ H18.09~ BJG-XZU N04C 07.12~ H19.12~ BKG-XZU N04C 07.12~ H19.12~ 3RZ-FE GE-RZU 00.05~04.04 H12.05~H16.04 GL-RZU 3RZ-FE 03.05~04.04 H15.05~H16.04 GL-RZU 3RZ-FPE 03.05~04.04 H15.05~H16.04 KK-XZU J05C 99.04~04.11 H11.04~H16.11 デュトロ KK-XZU S05C 99.04~04.11 H11.04~H16.11 H11.04~H16.11 KK-XZU 99.04~04.11 S05D LD-RZU 3RZ-FE 04.06~ H16.06~ PB-XZU J05D 04.05~ H16.05~ PB-XZU N04C 04.05~ H16.05~ PB-XZU S05D 04.05~ H16.05~ PD-XZU N04C 03.08~ H15.08~ N04C PH-XZU 05.04~ H17.04~ VF-XKU N04C 03.08~ H15.08~ ADG-FC J05D 05.05~ H17.05~ ADG-FC J07E H17.05~ 05.05~ ADG-FD J07E 05.05~ H17.05~ ADG-FD **J08E** 05.05~ H17.05~ ADG-FE J07E 05.05~ H17.05~ ADG-FE **J08E** 05.05~ H17.05~ H17.05~ ADG-FG J08E 05.05~ ADG-FJ J07E 05.05~ H17.05~ ADG-FT **J08E** 05.05~ H17.05~ ADG-FX J07E 05.05~ H17.05~ J07E ADG-GC 05.05~ H17.05~ ADG-GD J07E 05.05~ H17.05~ レンジャー ADG-GK **J08E** 05.05~ H17.05~ ADG-GX J07E 05.05~ H17.05~ **BDG-FC** J05D 06.04~ H18.04~ **BDG-FC** J07E 06.04~ H18.04~ BDG-FD J07E 06.04~ H18.04~ BDG-FD J08E 06.04~ H18.04~ **BDG-FE** J07E 06.04~ H18.04~ **BDG-FE** J08E 06.04~ H18.04~ **BDG-FG J08E** 06.04~ H18.04~

06.04~

06.11~

06.04~

H18.04~

H18.11~

H18.04~

**BDG-FJ** 

BDG-FT

**BDG-FX** 

J07E

**J08E** 

J07E

古廷夕 古王페-*		<b>ナン ふたい 田一子</b>	対応年式		
単性口	甲间空式		西暦	和暦	
	BDG-GC	J07E	06.04~	H18.04~	
	BDG-GD	J07E	06.04~	H18.04~	
	BDG-GK	J08E	06.04~	H18.04~	
	BDG-GX	J07E	06.04~	H18.04~	
	BJG-FC	J05D	08.01~	H20.01~	
	BKG-FC	J07E	07.12~	H19.12~	
	BKG-FD	J07E	07.12~	H19.12~	
	BKG-GC	J07E	07.12~	H19.12~	
	BKG-GD	J07E	07.12~	H19.12~	
	KS-FE	J07E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	KS-FE	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	KS-FG	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	KS-FJ	J07E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
1.2.23	KS-GK	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
000-	PB-FC	J05D	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-FC	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-FD	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-FD	J08E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-FT	J08E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-FX	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-GC	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-GD	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PB-GX	J07E	03.10~05.10	H15.10~H17.10	
	PK-FE	J07E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	PK-FE	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	PK-FG	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	PK-FJ	J07E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	PK-GK	J08E	04.05~05.09	H16.05~H17.09	
	ADG-FQ	E13C	05.12~07.02	H17.12~H19.02	
	ADG-FR	E13C	05.12~07.02	H17.12~H19.02	
	ADG-FS	E13C	05.12~07.02	H17.12~H19.02	
	ADG-FW	E13C	05.12~07.02	H17.12~H19.02	
	ADG-SH	E13C	05.12~07.02	H17.12~H19.02	
	ADG-SS	E13C	06.01~07.02	H18.01~H19.02	
	BDG-FH	A09C	06.01~07.02	H18.01~H19.02	
	BDG-FN	E13C	07.07~	H19.07~	
	BDG-FQ	E13C	07.03~	H19.03~	
プロフィア	BDG-FR	A09C	07.03~	H19.03~	
	BDG-FR	E13C	07.07~	H19.07~	
	BDG-FS	A09C	07.03~	H19.03~	
	BDG-FS	E13C	07.07~	H19.07~	
	BDG-FW	A09C	07.03~	H19.03~	
	BDG-FW	E13C	07.07~	H19.07~	
	BDG-GN	A09C	07.03~	H19.03~	
	BDG-PR	A09C	07.07~	H19.07~	
	BDG-SH	A09C	07.07~	H19.07~	
	BDG-SH	E13C	07.07~	H19.07~	
	KS-FN	E13C	07.03~	H19.03~	

* <b>* * * * *</b>		<b>ナンパン 田子</b>	対応年式		
単 埋 名	甲间空式	エンシン空式	西暦	和暦	
	BDG-SS	E13C	07.03~	H19.03~	
	BKG-FN	A09C	07.07~	H19.07~	
	BKG-FR	A09C	07.07~	H19.07~	
	BKG-FR	E13C	07.01~	H19.01~	
	BKG-FS	A09C	07.07~	H19.07~	
	BKG-FS	E13C	07.03~	H19.03~	
	BKG-FW	A09C	07.07~	H19.07~	
	BKG-FW	E13C	07.01~	H19.01~	
	BKG-SH	E13C	07.03~	H19.03~	
	KS-FH	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	KS-FN	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	KS-FN	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	KS-FQ	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	KS-FR	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	KS-FR	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	KS-FS	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	KS-FS	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
קיבטג	KS-FW	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
JUJ17	KS-GN	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	KS-SH	E13C	04.07~05.12	H16.07~H17.12	
	KS-SH	P11C	04.07~07.02	H16.07~H19.02	
	KS-SS	E13C	04.07~05.12	H16.07~H17.12	
	PK-FH	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	PK-FN	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	PK-FN	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	PK-FQ	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	PK-FR	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	PK-FR	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	PK-FS	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	PK-FS	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	PK-FW	E13C	03.11~05.11	H15.11~H17.11	
	PK-FW	P11C	03.11~07.07	H15.11~H19.07	
	PK-GN	P11C	03.11~07.02	H15.11~H19.02	
	PK-SH	E13C	04.07~05.12	H16.07~H17.12	
	PK-SH	P11C	04.07~07.02	H16.07~H19.02	
	PK-SS	E13C	04.07~05.12	H16.07~H17.12	
	ADG-RU	E13C	06.02~	H18.02~	
	ADG-RU	J08E	07.01~	H19.01~	
セレガ	BDG-RU	J08E			
	BJG-RU	A09C			
	PKG-RU	E13C			
	VM-RU	P11C	05.01~	H17.01~	
ブルーリボン	ACG-HU	J08E	05.01~	H17.01~	
シティー	BJG-HU	J08E			
ポンチョ	ADG-HX	J05D	06.03~	H18.03~	
	BDG-HX	J05D	07.07~	H19.07~	
メルファ	BDG-RR	J07E	07.06~	H19.06~	
<i><b>ブルノ</b>ア</i>	PB-RJ	J07E	04.08~	H16.08~	

<b>声</b> 语 久 声 示 刑 式	インジン世代	対応年式		
半性口	- 単岡空式	エノリノ空氏	西暦	和暦
メルファ	PB-RR	J07E	07.06~	H16.08~
	BDG-RX	J05D	07.06~	H19.06~
リエッセ	PB-RX	J05D	04.08~	H16.08~
リエッセ2	BDG-XZB	N04C	09.07~	H21.07~
	PB-XZB	N04C	04.08~	H16.08~
	PDG-XZB	N04C	09.07~	H21.07~
	BDG-HR	J07E	07.06~	H19.06~
レインボー	PB-HR	J07E	04.08~	H16.08~
	PK-HR	J07E	04.08~	H16.08~

### ※注意と補足※

あります。

 <sup>・</sup>対応表の年式はあくまで目安であり、対応年式内の車両でも対応していない場合が



## データリンクコネクタ



車両側データリンクコネクタは運転席インストルメントパネル下部にあり、コネクタの位置は車 両によって異なります。AT車の場合のコネクタ位置はアクセルペダルの上部、MT車の場合はハ ンドル左下にあります。 ※注意と補足※

車種・システム選択画面で
 コネクタ位置
 ボタンをタッチすると、車両側のコネクタ位置が

表示されます。



<図:車種・システム選択画面>



〈図:コネクタ位置表示画面〉

# 診断の準備

車両と接続します	P14
電源のON/OFF	P17
車種、システムを選択します	P19



車両と接続します

1) G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかり と締め付けてください。



<図:DLCメインケーブルの接続>



2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに 接続します。



〈図:車両との接続〉

### ※注意と補足※

車両によっては、車両のデータリンクコネクタ側からは電源が供給されません。その場合は、別途付属のシガライタ電源ケーブル、バッテリケーブルを接続して、車両から電源を供給してください。電源の供給方法に関しては取扱説明書(本体編)『電源の供給方法について』の項をご参照ください。





1) 車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



<図:IG SW ONまたはエンジン始動>

2) G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、 OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。



〈図:電源ON〉

3) G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図:G-scanメイン画面〉

4) 電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/ OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。



〈図:電源OFF〉



1) G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、 「\*\*\*\*\* ボタンを押してくだ さい。

G-scan 😒
()     ()
< ■ 車両診断 >
〈図:車両診断を選択〉

2) メーカ選択画面が表示されます。日野を選択して、 決定 ボタンをタッチ、 又は FI ボタンを押してください。

▶メー力選択			+ 0
日野	いすゞ	UDトラックス	三菱ふぞう
BENZ	日産	<b>F3</b> 8	スパル
VOLVO	CHRYSLER	マツダ	BMW
決定			

〈図:メーカ選択画面〉

3) 車種・システム選択画面が表示されます。

▶車種・システム選択	r an a sa kara sanaha		<b>←</b> 🖸
I≣" <sup>†</sup> 7°⊒ND		車種・システム	
曲 レンジャー		デュトロ	
<u>_</u>			
			回車種

4) 診断する車種名を選択して *「\*\*\*\*\** ボタンを押してください。車種名の下に型式 が表示されます。



〈図:車種名の選択〉

<sup>〈</sup>図:車種・システム選択画面〉

5) 同様に、診断する車両の型式、エンジン型式、年式を選択してください。

▶車種・システム選択	- a
ঢ়৽৵ঢ়৾৽ᠴ৸ঢ়	本 直種・システム
ABG-TRU	<b>¯</b> , <sup>*</sup> ⊐h⊓
⊨- BDG-XZU	BDG-XZU
	_
. VF-XZU	
- 12 68 -	
「実行」「	前回車種

〈図:型式の選択〉



〈図:エンジン型式の選択〉



〈図:年式の選択〉

6) 診断するシステムを選択して <u>実行</u>ボタンをタッチ、又は *「」*ボタンを押 してください。



〈図:システムの選択〉

※注意と補足※

- 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われない
  と故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、又は 50 ボタンを押すと、前回 選択した車種、システムを自動で選択します。

システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。
 システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。
 システム一覧から、システムを選択後 実行 ボタンをタッチ、又は デノボタンを
 押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

<u>再サーチ</u> ボタンをタッチ、又は <u>F6</u> ボタンを押すと再度システムサーチを行います。

▶ システムサーチ > デュトロ > BDG-XZU	F D
9 <b>X</b> 74	
I)>>>	
AT	
ABS	_
SRSLFNWY	
<u>システム一覧</u>	
	-7

〈図:システムサーチ画面〉

7) 車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。

●診断メニュ	-> Iンジン	+ 0
•	● 自己診断	•
	● データ表示	Þ
	● 保存 データ表示	•
*	━ アクティブテスト	►
•	● 作業サポート	•

〈図:診断メニュー画面〉

※注意と補足※

 上記の診断メニューはエンジンを選択した例です。診断メニューに表示される診断機能は 車種、システムによって異なります。

対応システムと機能の関係に関してはP6をご参照ください。



自己診断機能	P26
データ表示機能	P33
保存データ表示機能	P50
アクティブテスト機能	P57
作業サポート機能	P61
識別情報表示機能	P104



1)診断メニューにおいて『自己診断』選択して、 「\*\*\*\*\* ボタンを押してください。

● 診断メニュ	- > エンジン	+ 0
• /	━ 自己診断	•
•	● データ表示	•
	● 保存 データ表示	•
*	👄 アクティブテスト	►
•	● 作業サポート	•

〈図:診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



### 〈図:自己診断画面〉

- **故障コード**: SAEコード(例:P0135)が表示されます。
- **故障系統名** 
  故障系統名が表示されます。
  故障内容の詳細に関しては、日野のサービスマニュアルをご参照ください。

故障の検出状態を表示します。(※SRSエアバックのみ対応)

**状態**: 「現在」:現在発生している故障コードを検出したことを意味します。

「過去」:過去に発生した故障コードを検出したことを意味します。

モード ノーマルモードとチェックモード(テストモード)の切替をします。【詳細はP29を参照】

消去 自己診断記憶を消去します。【詳細はP28を参照】

フリーズフレーム フリーズフレームデータを表示します。【詳細はP31を参照】

#### ※注意と補足※

自己診断画面の表示形式は診断するシステムによって異なります。



▶ エンジン	> 自己診断	(ノーマルモート*)	+ O
P0098	吸気温センサ	系統(High)	
P0102	エアフロメータ地		
P0108	ブースト圧セ	▶ xyt-y	
P0113	吸気温セン	故障コートを消去します。 📃 📃	
P0118	水温セン地		
P0122	スロットルセン	注意	
		フリーズフレームデータがある場合、	
		故障コードを消去すると	
		フリースフレームテーダも	
		1000 +te>tolu	
	E E	ード 消去 フリーズフレーム	説明

〈図:故障コードの消去〉

→ エンシシ > 自己診断	(ノーマルモート*)	+	۵
	▶ かたージ 消去しました。		
	:ド 【 消去 【 フリーズフレーム 】 【 』	授日月	

〈図:故障コードの消去完了〉

### <u>---ド</u>ボタンの詳細

 モード ボタンをタッチ、又は デュ ボタンを押すとノーマルモードと チェックモード(テストモード)の切替えが行えます。 以下の画面が表示されますので、よろしければ OK ボタンをタッチして

ください。モードが切替わります。



#### 〈図:モード切替〉

▶ エンジン	> 自己診断(チェックモード)	+	D
P0098	吸気温センサ系統(High)		
P0102	エアフロメー処所線(Low)		
P0108	ブースト圧センサ(High)		
P0113	吸気温センサ系統(High)		
P0118	水温センサ断線(High)		
P0122	スロットルセンザ断線(Low)		
P0183	CNG車:高圧側がス温センサ(High) / ディーセル車:燃温センサ信号系統		
P0193	CNG車:高圧側がス圧センサ(High) / その他の車両:燃圧システム異常(		
	モード 消去 フリースウレーム	説明	

〈図:チェックモード(テストモード)での表示〉

### ※注意と補足※

チェックモードとは、通常のノーマルモードに比べて異常検出感度を向上させた機能です。
 各センサの異常が考えられるにも関わらず、ノーマルモードで検出できない場合に使用します。

## 「フリーズフレーム」ボタンの詳細

① <u>フリーズフレーム</u>ボタンをタッチ、又は<u></u>ボタンを押すと以下の画面が表示され ます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図:表示するフリーズフレームデータの選択〉

② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

**■ 減** ボタンをタッチ、又は **「 パ** オタンを押すと自己診断画面に戻ります。

▶ エンシシ > 自己診断(ノーマルモード) > フリースウレーム P0118 水温センサ断線(High)		+	0
フリース <sup>-</sup> コード(DTC)	P0118	-	~
エンシン負荷値	0.0	%	
エンシン冷却水温	-40	°C _	
インテークマニホールド圧	225	kPa	
エンシン回転数	0	rpm	
車速	0	Km/h	
吸入空気温度	-40	°C	
吸入空気量	97.65	gm/s	
エンジン始動後時間	0	sec	
燃料圧力	249690	kPa	
EGR開度	0.0	%	
DG消去後の暖機回数	0	0	*
戻る モード 消去 フリーズフレ	ν-4 [	説明	

〈図:フリーズフレームデータの表示〉

※注意と補足※

- フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(エンジンコンピュー タ)によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められて いて、故障コードに関連したデータ(エンジン回転数、車速、燃料補正値、冷却水温等)が 記憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記 憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コードを消去する時に同時に消去されます。



1)診断メニューにおいて『データ表示』を選択して「\*\*\*\* ボタンを押してください。

🛑 🎼 御子二고	> エンジン	+ 0
•	● 自己診断	•
	👄 データ表示	•
	● 保存 データ表示	•
	👄 アクティブテスト	Þ
•	● 作業サポート	•
	< 図:診断メニューにてデータ表示を選択〉	

- 2) データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。

<u>項目名</u>			<u>現在(</u>	<u>値 単位</u>		
▶ エンシント データ表示	(全	:項目) 🖌	, ,			+ 0
チェックエンシンランフ。		ON	-	DG消去後走行距離	0	Km
エンシン負荷値		0.0	%	大気圧	100	kPa
エンシン冷却水温		-40	°C	補機バッテリ電圧	14.2	V
インテークマニホールド圧		225	kPa	アクセルセンサNo.1開度	0.0	%
エンシン回転数		0	rpm	アクセルセンサNo.2開度	0.0	%
車速		0	Km/h	スロットルモータ出力	50.2	%
吸入空気温度		-40	°C	DG消去後経過時間	22	min.
吸入空気量		102.14	gm/s	パイロット1噴射時間	0	uS
エンジン始動後時間		0	sec	パイロット2噴射時間	0	uS
燃料圧力		249690	kPa	x42噴射時間	0	uS
EGR開度		0.0	%	77如實射時間	0	uS
DG消去後の暖機回数		0		パイロット1噴射時期	0.0	°CA
<< 1/9 2/9 >>						
│ 機能 │ 1画面	DIÌ	新田		£55 ]	ましい こうしょう そうしょう ほうしん しょうしん しょう しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょう	で項目

〈図:データ表示画面〉



- 現在值:現在値が表示されます。
  - 単位:単位が表示されます。

- 機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP37を参照】
- 1画面詳細 1画面表示に切替えます。【詳細はP35 3)を参照】
- 記録 データを記録します。【詳細はP41を参照】
- 選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】

### ※注意と補足※

・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

3) **1**画面詳細 ボタンをタッチ、又は <u>F</u><sup>2</sup> ボタンを押すと2画面で表示されていた データを1画面に表示することができます。

<u>項目名</u> 現在	<u>车值</u>		<u>単</u>	位		ł	<u> </u>
						<u> </u>	<u>最小値</u>
▶ エンシン > <sup>*</sup> →タ表示(全功 第日々)	(目) 👌	相子/法			3 1 /#		Ċ,
		現在1世	里1辺	斑	支小1但	<u> </u>	
チェックエンシシランフ		ON	-		-	-	~
エンシン負荷値		0.0	%		0.0	0.0	
エンシン冷却水温		-40	°C		-40	-40	
インテークマニホールド圧		225	kPa	П	225	225	
エンシン回転数		0	rpm		0	0	
車速		0	Km/h	П	0	0	
吸入空気温度		-40	°C		-40	-40	
吸入空気量		102.14	gm/s	П	102.14	102.14	
エンシン始動後時間		0	sec		0	0	
燃料圧力		249690	kPa	1	249690	249690	
EGR開度		0.0	%		0.0	0.0	
DG消去後の曖機同数		0			0	0	*
│ 機能 │2画面表示	ŧ.	り	57 📘		記録	┃ 選択項目	

〈図:データ表示画面 1画面表示〉

- 項目名: 項目名が表示されます。
- 現在値:現在値が表示されます。
  - 単位:単位が表示されます。
- 最大値/最小值: 最大値と最小値が表示されます。
  - 機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP37を参照】
  - 2画面表示 2画面表示に切替えます。

  - 記録 データを記録します。【詳細はP41を参照】
  - 選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】
※注意と補足※

・『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以 下の画面が表示され、単位を変更することができます。

▶ エンシン > データ表示(全項目)				+	Ō
項目名	現在値	単位	最小値	最大値	
チェックエンシシランフ	ON	-	-	-	~
エンシン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	
エンシン冷却水温	-40	°C	-40	-40	-
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225	
エンシン回転数	0	rpm	0	0	
車速	0	Km/h	0	0	
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40	
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14	
エンシン始動後時間	0	sec	0	0	
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690	
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0	
DG消去後の暖機回数	0		0	0	*
機能 2画面表示	グ	57	記録	選択項目	

〈図:単位をタッチ〉

▶ 17	▶単位				• 🗖
チェックエ エンシン	压力 OinHg	/温度 ○ °F	·速度 MPH	空気量 Ob/h	-
ンテー インテー エンシン 車速	O mbar O bar	0.0	O Kinghi	O gm/s	5 0 0
吸入3吸入3	● kPa ● MPa				0 4 0
燃料 EGR開 DG消	O mmHg			1	0 0 0 ~
	[		19260	J	

〈図:単位変更画面〉

### 機能ボタンの詳細

① ① ① 概能 ボタンをタッチ、又は FI ボタンを押すと以下の画面が表示さ

れます。

▶ エンシン > データ表示(	全項目)				+ D
チェックエンシシランフ。	ON	-	DG消去後走行距離	0	Km
エンシン負荷値	0.0	%	大気圧	100	kPa
エンシン冷却水温	-40	°C	補機バッテリ電圧	14.2	V
インテークマニホールド圧	225	kPa	アクセルセンサNo.1開度	0.0	%
エンシン回転数	0	rpm	アクセルセンサNo.2開度	0.0	%
車速	0	Km/h	スロットルモータ出力	50.2	%
吸入空気温度	-40	°C	DG消去後経過時間	30	min.
吸入空気量	102.14	gm/s	パイロット1噴射時間	0	uS
エンジン始動後時間	0	sec	パイロット2噴射時間	0	uS
燃料圧力	249690	kPa	メイン噴射時間	0	uS
	0.0	%	アフタ理射時間	0	uS
取八取小10 9791	0		パイロット1噴射時期	0.0	°CA
TC端子:ON	/9		2/9		>>
機能 1画面詳細			記録	まし 🛛 選折	項目

〈図:2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

▶ エンシン > データ表示(	全項目)				+	<b>D</b>
項目名		現在値	単位	最小値	最大値	
チェックエンシシランフ。		ON	-	-	-	~
エンシン負荷値		0.0	%	0.0	0.0	
エンシン冷却水温		-40	°C	-40	-40	-
インテークマニホールド圧		225	kPa	225	225	
エンシン回転数		0	rpm	0	0	
車速		0	Km/h	0	0	
吸入空気温度		-40	°C	-40	-40	
吸入空気量		102.14	gm/s	102.14	102.14	
最大最小値 無し		0	sec	0	0	
是大县小值世纪。		249690	kPa	249690	249690	
取入取小胆 パピット		0.0	%	0.0	0.0	
TC端子:ON		0		0	0	*
│ 機能 │2画面	表示 📃	ガ	57 🛛	記録	選択項目	

〈図:1画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

最大最小値無し: 最大最小値無し!は1画面表示状態のみ表示されます。

最大最小値リセット: 最大値、最小値をリセットします。

TC端子ON』のアクティブ制御を実行します。 TC端子ONはエンジンのみの機能です。エンジン以外のシステムでは表示されません。

#### グラフ・ボタンの詳細

▶ エンシン > データ表示(全項目)				+	<b>O</b>
項目名	現在値	単位	最小値	最大値	
チェックエンシシランフ	ON	-	-	-	~
エンシン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	F
エンシン冷却水温	-40	°C	-40	-40	-
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225	
エンシン回転数	0	rpm	0	0	
車速	0	Km/h	0	0	
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40	
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14	
エンシン始動後時間	0	sec	0	0	
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690	
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0	
DG消去後の暖機回数	0		0	0	~
機能 2画面表示		57	記録	選択項目	

〈図:1画面表示状態〉



〈図:グラフ表示画面〉

- 項目名:項目名が表示されます。
- 現在值: 現在値が表示されます。

Max/Min : 最大値/最小値が表示されます。

MinMaxリセット

最大値、最小値をリセットします。

★ ウラフリセット グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP39を参照】
戻る 数値表示に戻ります。

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】

② グラフ表示画面で画面下部の ★ グラフルセルト ボタンをタッチ、又は デューボタンを 押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行し た時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。



〈図:グラフリセット前〉



〈図:グラフリセット後〉

#### ※注意と補足※

- ・ グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。
   その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

### 記録ボタンの詳細

# ① 記録 ボタンをタッチ、又は デュボタンを押すと以下の画面が表示されます。

▶ エンジン > データ表示(	全項目)						+ 0
チェックエンシシランフ	ON	-	DG消去後走行跟	臣離		0	Km
エンシン負荷値	0.0	%	大気圧			100	kPa
エンシン冷却水温	-40	°C	補機バッテリ電圧			14.2	V
インテークマニホールド圧	225	kPa	アクセルセンサNo.1月	開度		0.0	%
エンシン回転数	0	rpm	アクセルセンサNo.2間	開度		0.0	%
車速	0	Km/h	スロットルモータ出力		С Х	50.2	%
吸入空気温度	-40	°C	DG消去後経過時	間		12	min.
吸入空気量	102.14	gm/s	パイロット1噴射時	間		0	uS
エンシン始動後時間	0	sec	パイロット2噴射時	間		0	uS
燃料圧力	249690	kPa	メイン噴射時間			0	uS
EGR開度	0.0	%	77如費射時間	<u> </u>	- 49	0	uS
DG消去後の暖機回数	0		N°イロット1噴射時	<b>単一</b> 副	己称	0.0	°CA
<< 1/9			連続調	2録		>>	
機能 1画面詳細			記録	ŧ I	選択	、項目	

〈図:2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

▶ エンシン > データ表示(全項目)				+	
項目名	現在値	単位	最小値	最大値	
チェックエンシシランフ	ON	-	-	-	~
エンシン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	
エンシン冷却水温	-40	°C	-40	-40	-
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225	
エンシン回転数	0	rpm	0	0	
車速	0	Km/h	0	0	
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40	
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14	
エンシン始動後時間	0	sec	0	0	
燃料圧力	249690	kPa		249690	
EGR開度	0.0	%		0.0	
DG消去後の暖機回数	0		連続記録	0	*
機能 2画面表示	グ	57	記録	選択項目	

〈図:1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

- 単一記録: 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP42 ②を参照】
- **連続記録**: 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP45 ⑥を参照】 最大記録時間は60分です。

② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。
 『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。

▶ エンシン > データ表示	(全項目) > 単一記録		+ 0
チェックエンシシランフ	ON - DG消去後走行距離	0	Km
エンシン負荷値		100	kPa
エンシン冷却水温		14.2	V
インテークマニホールド圧		0.0	%
エンシシ回転数	記録時間 : 00:03	0.0	%
車速		50.2	%
吸入空気温度		19	min.
吸入空気量	記録サンプル 1	0	uS
エンシン始動後時間		0	uS
燃料圧力		0	uS
EGR開度	·,	0	uS
DG消去後の暖機回数	0 回 パイロット1噴射時期	0.0	°CA
<<	1/9 2/9		>> )
記録終了	ו <u>ו</u> און		

〈図:単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 Yes を選択してファイ ルを保存してください。 № を選択した場合、記録したデータは失われ 閲覧することはできません。

▶ エンシン > データ表示	(全項目) > 単一記録				+ 0
チェックエンジシランフ。	ON -	DG消去後走行	距離	0	Km
エンシン負荷値 「				100	kPa
エンシン冷却水温	▶ 甲一記禄			14.2	V
インテークマニホールド圧	記録したファイルを保存し	ますか?		0.0	%
エンシン回転数				0.0	%
車速				50.2	%
吸入空気温度				19	min.
吸入空気量				0	uS
エンジン始動後時間				0	uS
燃料圧力				0	uS
EGR開度	200 Y 200	No		0	uS
DG消去後の暖機回数				0.0	°CA
<<	1/9		2/9		>>
記録終了	ሃ <i>ከ</i> ን				

<sup>〈</sup>図:記録完了後ファイルの保存確認〉

④ 保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、 cx をタッチして記録データを保存してください。 ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチして ください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変 更してください。

ファイル名を変更する場合は タッチしてください

٩

▶ エンジン > データ表示	(全項目) > 単一記録				+ 0
チェックエンジンランフ。	ON -	DG消去後走行距离	ſŰ	0	Km
エンジン負荷値				100	kPa
エンシン冷却水温	▶ 記録ナータのほ子			14.2	V
インテークマニホールトプ	│保存場所:G-scanRe/	cord¥HINO¥デュトロ		0.0	%
エンシン回転数				0.0	%
車速	保存名:			50.2	%
吸入空気温度				19	min.
吸入空気量	7%5KD T'YYYY DATA	0001		0	uS
エンシン始動後時間		_0001		0	uS
燃料圧力			- 11	0	uS
EGR開度				0	uS
DG消去後の暖機回数				0.0	°CA
<<	1/9		2/9		>>
記録終了	לא <b>ו</b>				

〈図:保存ファイル名の確認〉

	<u>入力パネル</u>
▶ エンジン > データ表示	(全項目) > 単一記録 🛛 💦 🗖
チェックエンシシランフ。	ON - DG消去後走行距離 0 Km
エンシシ負荷値	
エンシン冷却水温	▶ 記録テータの1来1子 14/2 V
インテークマニホールド圧	保存場所:G-scanRecord¥HINO¥デュトロ
エンシシ回転数	0.0 %
車速	保存名:
吸入空気温度	入力パネル
吸入空気量	7 <sup>2</sup> 10 1/2 <sup>2</sup> DATA Esc 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
エンシン始動後時間	
燃料圧力	
EGR開度	
DG消去後の暖機回数L	
<<	$\frac{1}{9}$
□記録終了	/ガ

〈図:保存ファイル名の変更〉

⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。詳細に関してはP50をご参照ください。



〈図:保存データ表示画面〉

『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。
 『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。

▶ エンジン > データ表示	등(全項目) > 連続記録		+ 0
イケニッション電圧	27.8 V フェーエルレール圧センサ	1.4	V
バッテリー電圧 「		5	-
目標アイドル回転速度		32	%
エンシン回転速度		954	mΑ
3个2燃料噴射時期	記録時間 : 00:02	YES	-
プレ燃料噴射量		0.7	V
アクセルへゆれセンサ1		69	°C
アクセルヘッダルセンサ2	記録サンプル 3	1.9	V
アクセルへやル開度		28	°C
目標フェーエルレール圧		1.3	V
実フェーエルレール圧		45	°C
フェーエルレール圧(実-目	0.0 MPa 大気圧センサ	2.3	V
<<	1/8 2/	3 🗌	>>
記録終了	/ታ		

〈図:連続記録で記録中〉

 ・リガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】

 記録を終了します。【詳細はP46 ⑧を参照】

⑦ 記録中に WW ボタンをタッチ、又は F= ボタンを押すとトリガ機能を 使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(-1.-2.-3サンプル .....)、トリガ後(1.2.3サンプル.....)のデータを記録することができます。

▶ エンシン > データ表示(全項目) > 連続記録 🔤 👘 두						
チェックエンシシランフ。	ON - DG消去後走行距離	0	Km			
エンシン負荷値 「		100	kPa			
エンシン冷却水温	▶ 記録中	14.2	V			
インテークマニホールド圧		0.0	%			
エンシン回転数	記録時間 : 00:12	0.0	%			
車速		50.2	%			
吸入空気温度		24	min.			
吸入空気量	記録サンブル 5	0	uS			
Iンジン始動後時間		0	uS			
燃料圧力		0	uS			
EGR開度		0	uS			
DG消去後の暖機回数	0 回 パイロット1噴射時期	0.0	°CA			
<<	1/9 2/9		>>			
記録終了した	אלי 🔰 🗌 🗌 אלי					

〈図:トリガボタンを選択〉

⑧ 記録を終了する場合は、 記録 ボタンをタッチ又は 「」 ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで(0サンプル~.....)のデータを記録します。
 記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP42 ③、P43 ④をご参照ください。

▶ エンシン > データ表示	(全項目) > 連続記録		+ 0
チェックエンシシランフ	ON - DG消去後走行距離	0	Km
エンシシ)負荷値 「		100	kPa
エンシン冷却水温		14.2	V
インテークマニホールド圧		0.0	%
エンシン回転数	記録時間 : 01:07	0.0	%
車速		50.2	%
吸入空気温度		24	min.
吸入空気量	記録サンプル 31	0	uS
Iンジン始動後時間		0	uS
燃料圧力		0	uS
EGR開度		0	uS
DG消去後の暖機回数	0 回 /パイロット1噴射時期	0.0	°CA
<<	1/9 2/9		>>
記録終了 ▶	ຫ້ [		

〈図:記録終了〉

⑦ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。詳細に関してはP50をご参照ください。

▶ 保存デー	-タ表示 > デュね_エ)	ッシーDATA_0003		+ 0	5
サンプル	チェックエンシシランフ。	エンシン負荷値 (%)	エンシシン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)	~
-5	ON	0.0	-40	225	P
-4	ON	0.0	-40	225	
-3	ON	0.0	-40	225	
-2	ON	0.0	-40	225	
-1	ON	0.0	-40	225	
0	ON	0.0	-40	225	
1	ON	0.0	-40	225	
2	ON	0.0	-40	225	
3	ON	0.0	-40	225	
4	ON	0.0	-40	225	
•					/
肘が移動	勧		グラ	ランズ データ情報	

〈図:保存データ表示画面〉

### 選択項目 ボタンの詳細

① 選択項目 ボタンをタッチ、又は <u>F6</u> ボタンを押すと以下の画面が表示され ます。



〈図:表示項目の選択〉

- 選択項目一覧: 項目名が表示されます。
  - 項目一覧:項目一覧が表示されます。

選択終了 選択を終了します。

② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ モレンジンを押して表示する項目を選択してください。 ・()・)ボタンを 押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図:表示項目の選択〉

③ 項目の選択を終了する場合は、 選択終了 ボタンをタッチ、又は **F**6 ボタン を押してください。

▶ エンシン > データ表示(全項目)			• • O
選択項目		EGR全閉位置学習値	
エンシック回車支援が		エアコンカット状態	
DPR制御モード		TC端子ON	
DPR差圧異常/過堆積		DPR/DPNR差圧	
DPR再生昇温不良		始動時水温	
DPR強制再生状態		始動時吸気温	
DPR/DPNR差圧		排気温センサB1S1	
排気温センサB1S1		排気温センサB1S2	
排気温センサB1S2		ターホ後吸気温	
	8/8		
機能 【1画面詳細】		【 記録 【 通	劉叔終了 []

〈図:選択の終了〉

④ データ表示画面に選択した項目が表示されます。

全項目の表示に戻す場合は、 全項目 ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを 押してください。

▶ エンシン > データ表示(選択項目)				+ D
項目名	現在値	単位	最小値	最大値
エンシン回転数	0	rpm	0	0
DPR制御モート	通常	-	-	-
DPR差圧異常/過堆積	正常	-	-	-
DPR再生昇温不良	正常	-	-	-
DPR強制再生状態	未実施	-	-	-
DPR/DPNR差圧	100.4	kPa	100.4	100.4
排気温センサB1S1	0.0	°C	0.0	0.0
排気温センサB1S2	0.0	°C	0.0	0.0
機能 全項目	グ	57 🛛	記録	選択項目

〈図:選択項目の表示〉



●診断メニュ	> エンジン	+ 0
•	● 自己診断	•
	● データ表示	•
	👄 保存 データ表示	•
*	👄 アクティブテスト	
•	● 作業サポート	•

〈図:診断メニューにて保存データ表示を選択〉

2)保存ファイル名の一覧が表示されます。

表示するファイル名を選択して \_\_\_\_\_ ボタンをタッチしてください。

▶ 表示するデータを選択して下さい	ومراجعها إعصافا والمرجا مرتابة المسالية مترجا
¥Storage Card¥G-scanRecord¥HINO¥テ°ュ\□	
名前	ファイルサイズ
デュトロ_ABS_DATA_0000.GSR	467KB
デュトロ_エンシン_DATA_0000.GSR	180KB
デュトロ_エンシン_DATA_0001.GSR	496KB
デュトロ_エンシン_DATA_0002.GSR	1063KB
デュトロ_エンシン_DATA_0003.GSR	253KB
ОК	th

〈図:保存ファイル一覧〉

3) データ表示で保存したデータが表示されます

	1	<u>サンプル</u>		/	<u>記録項目名</u>	
	▶ 保存デー	-タ表示 > デュトロ_エ	ンシン_DATA_0002.	.GSR 🚩	<b>←</b>   t	<u>a</u>
	サンブル	チェックエンシシランフ。	エンシシ)負荷値 (%)	1999/常知水温 (*C)	インテークマニホールトリ王 (kPa)	~
	70	OFF	10.6	83	102	-
	71	OFF	11.0	83	102	
	72	OFF	10.6	83	101	
	73	OFF	11.4	83	101	
	74	OFF	10.6	82	102	
	75	OFF	11.0	82	102	
	76	OFF	10.6	83	101	
	77	OFF	52.2	82	99	
	78	OFF	62.4	82	106	
J	79	OFF	0.0	82	105	
	<ul> <li>■</li> <li>■<th>動</th><th></th><th></th><th>▶</th><th>▲ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th></li></ul>	動			▶	▲ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

〈図:保存データ表示画面〉

- サンプル:記録数が表示されます。
- 記録項目名 : 項目名が表示されます。 項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。
  - 記録値: 値が表示されます。
  - ▶りが移動 0サンプル位置に移動します。【詳細はP52を参照】

  - データ情報 保存したデータの情報を表示します。【詳細はP56を参照】

## <u> <sup>||</sup> が 移動 <mark>ボタンの詳細</mark></u>

① <u>Nが移動</u> ボタンをタッチ、又は <u>FI</u>ボタンを押すとOサンプルの位置に 移動します。

▶ 保存デー	-タ表示 > デュトロ_エ	ンシン_DATA_0002	.GSR	+	
サンプル	チェックエンシシランフ。	エンシン負荷値 (%)	エンシシン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)	^
70	OFF	10.6	83	102	
71	OFF	11.0	83	102	
72	OFF	10.6	83	101	
73	OFF	11.4	83	101	
74	OFF	10.6	82	102	
75	OFF	11.0	82	102	
76	OFF	10.6	83	101	
77	OFF	52.2	82	99	
78	OFF	62.4	82	106	
79	OFF	0.0	82	105	
•				•	~
りが移	動		グラ	ラフ 🚺 データ情報	

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉

▶ 保存デ	-タ表示 > デュトロ_エ	ンシシ_DATA_0002	.GSR	+	Ô
サンプル	チェックエンシシランフ。	エンシン負荷値 (%)	エンシシン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)	^
0	OFF	11.4	81	101	=
1	OFF	11.0	81	102	
2	OFF	11.4	81	101	
3	OFF	11.4	81	101	
4	OFF	11.4	81	101	
5	OFF	10.6	81	101	
6	OFF	11.4	81	101	
7	OFF	0.0	81	100	
8	OFF	51.0	82	103	
9	OFF	0.0	82	103	
•				•	*
りが移	動		グラ	ラン 🎽 データ情報	

〈図:0サンプル位置に移動〉

### グラフ ボタンの詳細

① <u>ブラフ</u> ボタンをタッチ、又は <u>F4</u> ボタンを押すと数値で表示されてい たデータがグラフで表示されます。



〈図:記録データのグラフ表示〉

- 項目名: 項目名が表示されます。
- 記録値: カーソルA上の値が表示されます。
- 最大値/最小値: 最大値、最小値が表示されます。



② 「ブラフ機能」ボタンをタッチ、又は「「6」ボタンを押すと以下の画面が表示され

ます。



〈図:グラフ機能の詳細〉

- 表示項目 : 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】
- **カーソルA移動** : コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP55 ④を参照】
- カーソルB移動: コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP55 ⑤を参照】
  - トリガ移動: カーソルAをトリガ位置(Oサンプルの位置)に移動します。
  - MinMaxリセット: 最大値、最小値をリセットします。
    - データ情報: 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP56 ①を参照】



〈図:表示項目の選択〉

④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

 ・ ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

 ⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。
 ・ 「・」・ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカー ソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



<図:カーソルBを移動選択>



 データ情報 ボタンをタッチ、又は デラ ボタンを押すか、 プラフ機能 内の 『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画 面では現在表示している保存データの詳細を表示します。

▶ 保存データ表示	ミッデットT エンジン DATA 0002.GSR	A ← A
150 IV	▶ データ情報	~
-40 A	[ファイル情報] へ	82°C 🚍
₩ 127 0	デュトロ_エンシン_DATA_0002.GSR ファイルサイズ : 1063KBytes	174kPa
8000 IV: _0~	[自動車情報] メーカー : HINO 1 : デュトロ	1673rpm
200 車i	2 : BDG-XZU 3 : N04C	70Km/h 🔽
		8: 1'30"61
	>/凵 + - リスト表示	かうフ機能

〈図:データ情報画面〉

# **G**-<u>s</u>cλη

診断機能

# アクティブテスト機能

# ・ ・ アクティブテストは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容 を十分に理解した上で行ってください。 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。 アクティブテストは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行 してください。 アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。

車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。

- 1. 車両停止状態。(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)
- 2. ブレーキペダルを踏込む。
- 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。
- 1)診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して [ ��� � ]ボタンを押して下さ

い。



#### 〈図:診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2) アクティブテスト画面が表示されます。

<u>77</u>	<u>、ト状態表示部</u>				/	<u>項目一覧</u>	
	▶ エンシシ > アクティブテスト 🎽					+	۵
	!走行禁止 + TC端子ON ★		TCM VN的 高田 EGF エキン	端子ON ヌーボ開度E E燃料系検 R目標開度 パーストフ℃-	91 :査 B1 ·キVSV		
i	▶ エンソン > テータ表示						
	項目名	現在値		単位	最小値	最大値	
		データ表示	部				
	開始 停止	I				I	

〈図:アクティブテスト画面〉

- テスト状態表示部 : テスト状態が表示されます。
  - 項目一覧: アクティブテスト項目の一覧が表示されます。
  - データ表示部: アクティブテスト中のデータが表示されます。
    - 開始 アクティブテストを開始します。【詳細はP59 3)を参照】

3) アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、 開始 ボタン をタッチ、又は 「」 ボタンを押してください。

▶ エンシン > アクティブテスト				+	۵
		TC端子ON			
		VNA一本開度E	1		
▲ TC端子ON		高圧燃料系検査			
		EGR目標開度	81		
*		エキアーストアルー	+vsv		
▶ わため」 > デニカ主王	I				
▲ エノアノン J 二分裂の小 百日夕	祖左値	用位	是小值	是大值	
	-57.1±1@	<u> </u>	HR 111E	42/112	_
					1
					i.
開始停止		le la		1	
開始停止					

〈図:アクティブテスト画面〉

 アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は 停止 ボタンを タッチ、又は デューボタンを押してください。

► エンシシ > アクティブテスト				<b>+</b> ⊡	
!走行禁止			7	クティブテスト	実行ボタン
◆ TC端子ON			Ż		
*					
▶ Iンジン > データ表示					
項目名	現在値	単位	最小値	最大値	
EGRリフトセンサ電圧比	0.0	%	0.0	0.0 🔨	
EGR全開位置学習値	3.98	V	3.98	3.98 🧮	
エアコンカット状態	ON	-/	-	-	
TC端子ON	OFF		-	- 🚍	
DPR/DPNR差圧	100.4	kPa	100.4	100.4 🞽	ļ
開始停止	ON (	DFF			

〈図:アクティブテスト開始〉

▶ エンシン > アクティブテスト		+ 0
!走行禁止		
◆ TC端子ON	マゥニィゴニー	71. 华能主二
* ON テスト終了	•	<u>NF状態衣小</u>
▶ エンシン > データ表示		
項目名	現在値 単位	最小値 最大値
EGRリフトセンサ電圧比	0.0 %	0.0 0.0 🔨
EGR全開位置学習値	3.98 V	3.98 3.98 💳
エアコンカット状態	ON -	
TC端子ON	ON -	· · - =
DPR/DPNR差圧	100.4 kPa	100.4 100.4 🞽
問題は「信心」		

〈図:アクティブテスト実行〉

#### ※注意と補足※

アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

『テスト失敗』と表示された場合、車両のテスト条件を満たした状態にして、再度アクティブ テストを実行してください。

# G-scvu

診断機能

# 作業サポート機能

# ・ ・ 作業サポートは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を +分に理解した上で行ってください。 ・ 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。 ・ 作業サポートは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行し てください。 ・ 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。 車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。 ・ 1.車両停止状態。(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)

- 2. ブレーキペダルを踏込む。
- 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。
- 1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して「エー」ボタンを押してください。

┣┇診断メニュ	> Iンジン	+ 0
•	● 自己診断	•
	● データ表示	)
	● 保存 データ表示	•
~	👄 アクティブテスト	Þ
•	━ 作業サポート	•

#### 〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して (\*\*\*\*\*\*\*) ボタンを押してください。



#### 〈図:エンジン作業サポート項目選択画面1〉



#### 〈図:エンジン作業サポート項目選択画面2〉

●診断メニュ	> I)>>)	+ 0
•	━ サプライポンプ機差学習値初期化	•
	■ VNT点検	►
	● 燃料漏れ点検	•
-	━ ターボ点検	►
•	➡ EGR点検	•





〈図:エンジン作業サポート項目選択画面4〉

**DPR強制再生**: DPR強制再生を実施します。 ※ 所要時間 = 約20分

- **インジェクターIDコード確認**: 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
- インジェクターIDコード登録: 各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
- インジェクターIDコード登録(ECU交換時): ECU交換時に各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
  - サプライポンプ学習値初期化: サプライポンプ学習値の初期化を行います。
  - サプライポンプ機差学習値初期化: サプライポンプ学習値の初期化を行います。

**DPR状態表示**: DPRの状態を表示します。

- **DPR状態リセット**: DPRの状態をリセットします。
- **DPR差圧チェック**: DPRの詰まり具合をチェックします。
  - VNT点検: VNT(バリアブルノズルターボチャージャー)の点検を行います。
  - 燃料漏れ点検: 燃料漏れがないかどうかの点検を行います。
    - **ターボ点検**: ターボチャージャーの点検を行います。
      - **EGR点検:** EGRの点検を行います。
- 吸入空気量点検: 吸入空気量の点検を行います。
- **アクセルセンサ点検**: アクセルセンサの点検を行います。
- **車速設定(クルーズコントロール時)**: クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。

#### **車速設定**: 最大車速設定を行います。



〈図:ABS作業サポート項目選択画面〉

#### エア抜き: エア抜き、ブレーキフルードの交換要領の方法を記載しています。



〈図:プロシフト作業サポート項目選択画面〉

モード使用頻度 : モード使用頻度の確認とリセット、リセット履歴の確認を行います。

時計セット: ECUに内蔵された時計のセットを行います。

≪作業サポート「DPR強制再生」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して [\*\*\*\*\* ボタンを 押してください。

●診断メニ:	1-> Iンシシン	+ D
•	■ DPR強制再生	•
	━ インジェクターIDコード確認	Þ
	━ インジェクターIDコード登録	Þ
		Þ
•	● サプライポンプ学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

▶ Iンシン > DPR強制再生	+ 🖸
DPR強制再生	~
≪概要≫ DPR手動再生を要求する表示がされていない状態でもDPRの再生を実施します。	
<ol> <li>1.車両を安全な場所に停車させます。</li> <li>2.トランスミッションはN位置(AT車はP位置)とし、ハーキンケブルーキを確実に引きます。</li> <li>3.PTOはOFFにしてください。</li> <li>4.エンシンを完全暖機します。</li> <li>5.DPRの強制再生には約20分かかります。</li> </ol>	
≪注意≫ 1.自己診断で故障コートや2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施し	てくださ 🔽
OK +#)Z# [ [ ]	

〈図:注意メッセージ画面 DPR強制再生〉

#### ※注意と補足※

・ 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。 い。消去するには一度バッテリケーブルを外し、1分以上放置してください。

- 3) 『DPR強制再生』の実行画面に移ります。DPR強制再生中の状態が表示されま
  - す。

▶ エンシン > DPR強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転数	1119.5	RPM
排気温センサB1S1	131.9	°C
排気温センサB1S2	79.4	°C
DPR/DPNR差圧	201.7	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モート <sup>*</sup>	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
再生中止		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

・ 以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温セン サ値が上昇します。

▶ Iンシン > DPR強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転数	1199.0	RPM
排気温センサB1S1	529.4	°C
排気温センサB1S2	411.9	°C
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モード	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	
再生中止		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

4) 約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示されますので、 0k ボタンを押してDPR再生を完了してください。

▶ Iンシシン > DPR強制再生	+ 0
Ok ++>th I I I	

〈図:完了画面 DPR強制再生〉

5) やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は <u>再生中止</u> ボタンを押 してください。

▶ Iンシシン > DPR強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンジン回転数	1199.0	RPM
排気温センサB1S1	529.4	°C
排気温センサB1S2	411.9	°C
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モート	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	
再生中止		

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

6) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。 「ペー」ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。

Iンジン > DPI	R強制再生			+ O
DPR再生を中」 アクセルへゆルを操	Eします。 作してください	•		
Ok	キャンセル		I	

〈図:再生中止画面 DPR強制再生〉

#### ※注意と補足※

- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

🛑 診断メニュ	1-> Iゾジン	+ 0
•	■ DPR強制再生	•
	━━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 確認	Þ
	■ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 登録	Þ
*	━ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	•
	● サプライポンプ学習値初期化	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

1) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ **C**k ボタンを押し、 インジェクターIDコード確認を終了してください。

▶ エンシン > インジェクターIDコート 確認	4 0
InjectorIDコード(第1気筒): 0231-4326-0000-D80C-E200-0000-0000-60 InjectorIDコード(第2気筒): 0200-0000-0000-0008-0000-0000-0000-0A InjectorIDコード(第3気筒): 0200-0018-0013-0014-0000-0000-0000-1E InjectorIDコード(第4気筒): 0200-2000-0009-0015-0000-0000-0000-3E	

〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)〉

≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫

🛑 診断メニュ	> エンシシ	+ D
•	■ DPR強制再生	•
	━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 確認	Þ
	■ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 登録	•
*	■ インジェクターIDコード登録(ECU交換時)	•
•	● サプライポンプ学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。
  - 注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ



〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉
3) 交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ ok ボタンを 押してください。

▶ エンジン > インジェクターIDコード登録	0 + D
<ul> <li>1: 32010000000000000000000000000033</li> <li>2: 320000C400E9EEED000000000001C</li> <li>3: 32D300C300F300F1000000000000000000000000000</li></ul>	

〈図:気筒選択画面 インジェクターIDコード登録〉

4) KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある30桁のインジェクターIDコ ードを入力します。よろしければ ペペ ボタンを押してください。

▶ エンシン > インジェウターIDコート*登録	KEYBO	ARD	
交換する新品のインジェクタASSY頭部に刻印してある。 IDコートド(3D桁の革教字)を直接読み、入力して下さい。	0	1	2
101-F1 (304110)英数子)を直接読み、入力して下さい。 入力が完了したら、[OK]を押して下さい。		4	5
	6	7	8
	9	А	в
, .	С	D	E
Ok ++>>th ]	F	<-	Enter

〈図:IDコード入力画面 インジェクターIDコード登録〉

IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。



5)入力したIDコードが正しければ **I**マレー ボタンを押してください。ボタンを押 すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。

▶ エンシン > インジェクターIDコード登録	
登録するコートは 320100000000000000000000000033 で問題ないか確認して下さい。 登録する場合は、[OK]を押して下さい。	

〈図:IDコード確認画面 インジェクターIDコード登録〉

6)書込み完了のメッセージが表示されます。
 ターIDコード登録を終了します。

▶ エンシン > インシェクター]	Dコード登録			+ 0
インジェクタ補正(手動ID	コード登録)が完了し	ました。		
OK ‡v:	rtil 📘			

〈図:完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

## ≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫

#### ※注意と補足※

- ・ ECUを交換した際に行う作業です。
- ・基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード登録」と同様となります。

≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫

● 診断メニュー > エンシシ	+ 0
● DPR強制再生	•
► インシュクターIDコート 確認	►
━ インジェクターIDコート <sup>*</sup> 登録	►
▲ インジェクターIDコート 登録(ECU交換時)	Þ
◇ サプライポンプ学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『サプライポンプ学習値初期化』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示 されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを押してくだ さい。

▶ エンジシ > サフプライホペノフプ学習値初期化	+ 0
この機能は、インジェクション(サフライ)ホツフきたはエンシツコントロールコンピュータを交換後、 必ず行う機能です。	
サフプライホシンプ学習値初期化を行います。	
注意 IG ON、エンシン停止状態で実施して下さい。	
実行する場合は、[OK]を押して下さい。	

〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

3) 初期化完了のメッセージが表示されます。 ペー ボタンを押してサプライポ ンプ学習値初期化を終了します。

エンシン > サフキ	シイポンブ学習	植初期化		+	Ô
実行はた。					
Ok	キャンセル				

〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

≪作業サポート「DPR状態リセット」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタン を押してください。

━i診断メニ:	1-> IYŶŶ	+ D
•	■ インジェクターIDコート 登録	•
	■ DPR状態リセット	•
	■ DPR強制再生	Þ
*	■ DPR差圧チェック	Þ
•	● サプライポンプ機差学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ ペーボタンを押してください。

▶ エンシシ > DPR状態リセット	+ 0
≪概要≫ DPRの状態をリセットします。 DPR状態リセットはDPRの点検及び洗浄後に実施してください。 DPR状態リセットは IG ON(エンシン/停止)で実施してください。	
OK 🚺 Ŧŧi)tell 📔 📔	

〈図:確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

3) 実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ ペパン ボタンを押してく ださい。

▶ エンシシ > DPR状態リセット	+ 0
DPR状態のリセットを実施しますか?	

〈図:確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

4) リセット完了のメッセージが表示されます。 **へ** ボタンを押してDPR状態リ セットを終了します。

エンシン > DPR	状態リセット			+ D
   DPR状態のリカッ	トが完了しました	<u>-</u> .		
	1/00/01/00/04	_0		
		1		
Ok j	キャンセル			

〈図:完了メッセージ画面 DPR状態リセット〉

≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫

━i診断メニ:	1-> IY97	<b>← ∆</b>
•	━ インジェクターIDコード登録	Þ
	■ DPR状態リセット	Þ
	■ DPR強制再生	Þ
*	■ DPR差圧チェック	•
•	● サプライポンプ機差学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますの で、内容をご確認ください。よろしければ ペーボタンを押してください。

▶ エンシシン > DPR差圧チェック	+ 0
≪概要≫ DPRの差圧チェックを行います。 エンシン回転数が上昇し、DPRの値が表示されます。 DPRの差圧が基準値を超えた場合は、DPR再生、 DPRのクリーニングやDPRの交換のいずれかを行ってください。 DPR差圧チェックを実行しますか?	
Ok キャンセル	

〈図:確認メッセージ画面 DPR差圧チェック〉

3) DPR差圧状態が表示されます。 実行 ボタンを押すとエンジン回転数が上

がりDPR差圧が上昇します。

▶ エンジン > DPR差圧チェッウ	4	· Ö
開始ホタンを押すとDPRの差	圧チェックを行います。	
Iンシン 差圧基準 A09C HX07 E13C カーゴ 7 P11C カーゴ 1 基準値を超えた場合はフィル	i値(kPa) トラック 10.5kPa / HXO7トラクタ 9.0kPa / MZ12トラック 7.0kPa ア.5kPa / ダンプ11.5kPa / トラクタ 9.5kPa L1.0kPa / トラクタ 9.5kpa レター部を洗浄または交換をしてください。	
Iンシン回転数 DPR/DPNR差圧 DPR差圧	0 rpm kPa 100.0 kPa	
- 開始 <u></u> キャンセル		

〈図:モニター画面 DPR差圧チェック〉

4) <u>
停止</u>
ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR

差圧が上昇します。終了する場合は
\*\*>セルーボタンを押してください。

▶ エンジシ > DPR差圧チェック	Ō
DPR差圧チェック中です。	
Iンシシ 差圧基準値(kPa) AO9C HX07トラック 10.5kPa / HX07トラクタ 9.0kPa / MZ12トラック 7.0kPa E13C カーゴ 7.5kPa / タンフ <sup>®</sup> 11.5kPa / トラクタ 9.5kPa P11C カーゴ 11.0kPa / トラクタ 9.5kpa 基準値を超えた場合はフィルター部を洗浄または交換をしてください。	
Iンシン回転数 0 rpm DPR/DPNR差圧 kPa DPR差圧 100.0 kPa	

〈図:モニター画面 DPR差圧チェック〉

≪作業サポート「DPR状態表示」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

●診断メニ.	1 ~ > I)ŷŷ	
•	■ DPR状態表示	
	■ DPR状態ルセット	•
	■ DPR強制再生	Þ
	■ DPR差圧チェック	Þ
•	● サプライポンプ機差学習値初期化	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを押してください。



〈図:確認メッセージ画面 DPR状態表示〉

3) 各DPRに関係するデータを表示します。次の項目を表示させる場合には Next ボタンを押してください。

▶ エンシシ > DPR状態表示	۵
DPRの各状態表示がすべて"OFF"の場合は、次ページのDPR状態を確認してください。 いずれかのDPR状態表示が"ON"の場合は、DPR点検及び洗浄後にDPR状態リセットを実施後、 DPR強制再生を行ってください。	
差圧判定DPR故障 OFF 温度判定DPR故障 OFF DPR異常過熱 OFF DPR差圧センサー目詰まり OFF 触媒劣化 OFF	
Next キャンセル I I I	

〈図:モニター画面 DPR状態表示〉

4) +ャンセル ボタンを押すとDPR状態表示を終了します。

▶ Iンシシ > DPR状態表示	· D
DPR状態表示がすべて"OFF"の場合は、DPRが正常に機能します。 いずれかのDPR状態表示が"ON"の場合は、DPR点検及び洗浄後にDPR状態リセットを実施行 DPR強制再生を行ってください。	後、
目詰まり警告レベル OFF 目詰まり危険レベル OFF 昇温不良 OFF	
<b>キャンセル オャンセル I I I</b> .	

〈図:モニター画面 DPR状態表示〉

≪作業サポート「VNT点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

●診断メニュ	1-> I/97/	+	Ō
• /	━ VNT点検	•	-
	● 燃料漏れ点検	Þ	
	━ ターボ点検	Þ	
	■ EGR点検	•	
•	● 吸入空気量点検		-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

 2)『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。

トロンシン > VNT	点検			+ 🖸
≪概要≫ VNT(ハツアブルノフ ≪注意≫ 1.Iンシンンを停止さ 2.パーキンケワでレー: 3.スターターキーをO	マルターボ・チャージャー)のハ ミセ、キドヤをニュートラルボッジ キを引いてください。 Nにしてください。	ルフチェックを行います ションにしてください。	ŧ.	
Ok I	キャンセル			

〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉



〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉

4) DOWN UP ボタンでVNTの開度を変更することができます。VNT点検

を終了する場合には「停止」または「キャンセル」ボタンを押してください。

エンシシ > VNT	点検	+ 0
[DOWN/UP]ホ <sup>3</sup> 実開度値が追従 基準値:誤差5%	タンを押すと、VNT開度を0%から100%まで10%すつ変化できます。 Éすることを確認してください。 6以内	
- アクティンテスト項 指示VNT開度 - デーケニタ -	目 - 20 %	
実VNT開度	20 %	
	UP 停止 キャンセル	

〈図:モニター画面 VNT点検〉

≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

🛑 i診断メニ:	1-> IV97	+ 0
•	● 燃料漏れ点検	•
	● ターボ点検	Þ
	■ EGR点検	Þ
	━ 吸入空気量点検	•
•	● アクセルセンサ 点検	· · · · · ·

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、 内容をご確認ください。よろしければ 0k ボタンを押してください。

▶ IVジシ > 燃料漏れ点検	Ō
≪概要≫ 燃料漏れが無いかどうかの点検を行います。 <<注意≫ 1.キャ位置をニュートラルにし、パーキングフルーキを引いてください。 2.PTOをOFFにしてください。 3.エンシン冷却水温を60℃以上にしてください。 4.エンシンをアイトル状態にし、エンシンウォームアッフ <sup>®</sup> スイッチをOFFにしてください。	
Ok _ ++>tell	

〈図:確認メッセージ画面 燃料漏れ点検〉

3) 燃料漏れ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

▶ エンシシ > 燃料漏れ点検	- 0
[開始]ホタンを押すと、エンシン回転数が1500RPMまで上昇し、 燃料圧力がコモンレール圧力の値まで上昇します。 燃料圧力とコモンレール圧両方の値が低い場合、キャフをチルトアップし、 エンシンフートを傾け燃料が漏れていないか確認してください。 エンシン冷却水温 80 ℃ エンシン回転数 0 RPM コモンレール圧力 249 MPa 実コモンレール圧力 0 MPa	

〈図:モニター画面 燃料漏れ点検〉

4) エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料 漏れ点検を終了する場合には 停止 または ポンセル ボタンを押してくださ い。

▶ エンシン > 燃料漏れ点検	+ O						
点検を中断する場合は[停止]ボタンを押してください。							
エンジン冷却水温 70 °C エンジン回転数 1500 RPM コモンレール圧力 207 MPa 実コモンレール圧力 200 MPa							
停止 キャンセル [							

〈図:モニター画面 燃料漏れ点検〉

≪作業サポート「ターボ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押し てください。

━診断メニュ	1-> IY99	+	Ō
•	● ターボ 点検	•	-
	■ EGR点検	Þ	
	━━ 吸入空気量点検	Þ	
	━ アクセルセンサ点検	Þ	
•	● 車速設定(クルーズコントロール時)	•	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペパンを押してください。

▶ エンシン > ターボ点検	Ō
< <p>≪概要≫ ターボチャージャーの動作チェックを行います。 ≪注意≫ <ol> <li>1.キャ位置をニュートラルにし、パーキングブルーキを引いてください。</li> <li>2.PTOをOFFにしてください。</li> <li>3.エンジン/冷却水温を60℃以上にしてください。</li> <li>4.エンジンをアイトル状態にし、エンジンウォームアッフ*スイッチをOFFにしてください。</li> </ol></p>	
Ok 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「	

〈図:確認メッセージ画面 ターボ点検〉

3) ターボ点検のテストを開始する場合には 環境 ボタンを押してください。

► I292 > 9-ボ点検
[開始]ホタンを押すと、エンシン回転数が上昇します。 その後、エンシン回転数が上昇し回転数が安定した時、ターホチャージャーの値が110kPa以上 であることを確認してください。 エンシン回転数が安定した後、吸気圧が110kPa以上である必要があります。
エンシシ冷却水温 40 ℃ エンシン回転数 600 RPM ターホチャーシャ圧 71 kPa
開始 キャンセル

〈図:モニター画面 ターボ点検〉

4) エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終 了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。

▶ エンジン > ターボ点検		+ 0
[停止]ホタンを押すと、エンシン	ン回転数がアイドル状態に戻ります。	
エンシン冷却水温 90 ( エンシン回転数 3300 ) ターホチャーシャ圧 131	°C RPM kPa	
停止 キャンセル		

〈図:モニター画面 ターボ点検〉

≪作業サポート「EGR点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

━i診断メニ:	1-> I)ŷŷ	+ 0
•	━ EGR点検	•
	━ 吸入空気量点検	Þ
	━ アクセルセンサ点検	Þ
	● 車速設定(クルーズコントロール時)	►
•	● 車速設定	• • •

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ OK ボタンを押してください。

▶ Iンシウ > EGR点検	<b>← Ď</b>
≪概要≫ EGRハルフ・チェックを実施します。 ≪注意≫ 1.キャヤをニュートラルホペシジョンにし、パーキンクウトルーキを引いてください。 2.スターターキーをONにしてください。(エンシンは始動させない)	
Ok キャンセル 、 、 、、、	

〈図:確認メッセージ画面 EGR点検〉

3) EGR点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

▶ Iンシン> > EGR点検		+ 0		
[開始]ホタンを押すと、EGRの値をを[DOWN/UP]ホタンで変化することができます。 [パルブ1ネフ期化]のホタンを押した場合、EGR全閉パルブ1位置のネフ期化が実施されます。				
- アウティブテスト項目 - 実EGR開度 - デーカモーカa-	0	%		
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	0	%		
 開始 /バルブ1ネ	加期化	: ++>セル		

〈図:モニター画面 EGR点検〉

4) DOWN UP ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点

検を終了する場合には「停止」または「キシセル」ボタンを押してください。

▶ エンシン > EGR点検	+	Ô
[DOWN/UP] ボタンを押す 実際のEGRの値と比較し 基準値:誤差5%以内	すと10%ステッフで0%から100%の範囲でEGRの値を変更できます。 てください。	
- アウティブテスト項目 - 実EGR開度 - データモニタ - 目標EGR開度1	10 % 10 %	
DOWN UP	停止 キャンセル 「	

〈図:モニター画面 EGR点検〉

≪作業サポート「吸入空気量点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタン を押してください。

┣️診断メニュ	1-> I)シシン	+	Ō
•	■ EGR点検	Þ	-
	━━ 吸入空気量点検	Þ	
	━ アクセルセンサ点検	►	
	● 車速設定(クルーズコントロール時)	►	
•	● 車速設定	••••	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますの で、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。

▶ Iンシシン > 吸入空気量点検	+	٥		
≪概要≫ アクセルへなルを操作しながら吸入空気量のチェックを行います。	ļ	^		
1.キャをニュートラルにし、パーキンケブ・レーキを引いてください。 2.PTOをOFFにしてください。 3.エンシン冷却水温を60℃以上にしてください。 4.エンシンを暖機してウォームアップ。スイッチをOFFにします。 5.アクセルを踏むと、吸入空気量が変化することを確認します。				
≪注意≫ 吸入空気量が変化しないときは、吸気/排気系(エアフィルタ,マフラー等)または エアフロセンサーを確認してください。 エアフロセンサ周辺が汚れている場合にはセンサー周辺を掃除してください。				
OK 📕 🕂 🖌 📕 📕				

〈図:確認メッセージ画面 吸入空気量点検〉

ļ	<ul> <li>エンシン &gt; 吸入空気量</li> </ul>	点検				←	۵
[保持]ボタンを押すと現在の値が保持されます。							
	エンシシン冷却水温 アクセルホシションセンサ 吸入空気量	60 °C 20 % 10 g/s					
	保持 わど	th -	I	I			

〈図:モニター画面 吸入空気量点検〉

4) (保持)ボタンを押したときの値が表示されます。 解放 ボタンを押すと再 度モニター画面移行します。点検を終了する場合には キシセル ボタンを押して ください。

Iンシン > 吸入空気	量点検	+	Ō
[解放]ホタンを押すとき	見在の値がキャンセルされます。		
エンシン冷却水温 アクセルホシンションセンサ 吸入空気量	60 ℃ 20 % 10 g/s		
解放 ++	international descent and the second se		

〈図:データ保持画面 吸入空気量点検〉

≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫

1)作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタ ンを押してください。

━診断メニュ	1-> I)ŷŷ	+ 0
•		•
	━ 吸入空気量点検	Þ
	👄 アクセルセンサ点検	•
° (	● 車速設定(クルーズコントロール時)	
•	● 車速設定	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されます ので、内容をご確認ください。よろしければ 0k ボタンを押してください。

▶ Iンジン > アクセルセンサ点検	+ D
≪概要≫ 走行時、PTO時、アクセルセンサ電圧が基準値内になるようアクセルへタジルストッパー, ターンハックルを調整します。	
≪注意≫ スターターキーをOFFにしてください。(エンシンは始動させないでください) 調整しても値が基準値範囲内でない場合はアクセルセンサ交換が必要です。	

〈図:確認メッセージ画面 アクセルセンサ点検〉

3) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する 場合には 保持 ボタンを押してください。 PTO調整 ボタンを押すとPTO時の アクセルセンサの点検を行えます。

I	▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	+	Ō	
	走行用アウセルセンサ調整を行います。			
I	アクセルセンサ1電圧 0.70 V			
I	アクセルセンサ2電圧 0.70 V			
I	アクセルセンサ開度 0%			
I	アクセルSW OFF			
	1.アクセルから足を離します。 基準値(ロ.7-1.0V)外の場合はアクセルへずルの裏側にあるアクセルセンサとアクセルへずルをつな( いるターンハックルの長さを調整してアクセルセンサ電圧を基準値内にしてください。 2.アクセルを一杯に踏み込みます基準値(3.5-4.4V)外の場合はアクセルへずルの裏側にある アクセルへずルストッハの位置を調整してセンサ電圧を基準値内にしてください。 調整しても基準値にならない場合は、アクセルセンサ交換が必要です。 [保持]本すンを押すとその時の読み取り値をを保持します。	,ı٣		
	PTO調整 保持 キャンセル 】			

〈図:モニター画面 アクセルセンサ点検〉

4) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する 場合には 保持 ボタンを押してください。点検を終了する場合には キャンセル ボタンを押してください。 アウセル調整 ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検 に戻ります。

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	+	Ô
作業用アクセルセンサ調整を行います。		
作業用アクセルセンサ出力電圧 0.00 V 作業用アクセルセンサ開度 0%		
1.作業用アクセルをアイドルに戻します。基準値(0.7-1.0V)外の場合は車両左側リアアーチ内( 作業用アクセルセンサのレハーストッハホルトの長さを変え、アクセル電圧を基準値内にあわせてくだ 2.直接、作業用アクセルをフルにしてください。基準値(3.3-3.9V)外の場合は 車両左側リアアーチ内にある作業用アクセルセンサのレハーストッハホルトの長さを変え、 アクセル電圧を基準値内にあわせてください。	こある さい。	>
[保持]ホタンを押すとその時の読み取り値をを保持します。		
アクセル調整 保持 キャンセル 【 【 】		

〈図:データ保持画面 吸入空気量点検〉

5) (保持)ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。) 解放 ボ タンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には キャンセル ボタンを押してください。

🕨 エンシン > アクセルセ	ンサ点検				+ 0
[解放]ホウンを押する	≤、現在の読み	⊁値がキャンセル	しされます。		
アクセルセンサ1電圧 アクセルセンサ2電圧 アクセルセンサ開度 アクセルSW	0.00 V 0.00 V 0 % OFF				
解放	キャンセル	キャンセル			

〈図:走行時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

▶ エンシシ > アクセルセンサ点検	
[解放]ボタンを押すと、現在の 作業用アウセルセンサ出力電圧 作業用アウセルセンサ開度	売み値がキャンセルされます。 0.00 V 0 %
解放 キャンセル	

〈図:PTO時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

≪作業サポート「車速設定」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

🗀 診断メニュ	-> I))*)	+	<b>D</b>
• /	● EGR点検	•	-
	➡ 吸入空気量点検	►	
	━ アクセルセンサ点検	►	
*	● 車速設定(クルーズコントロール時)	►	
•	● 車速設定	•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容 をご確認ください。よろしければ 0k ボタンを押してください。

▶ Iンシウ > 車速設定 🛛 🗧 🗲	Ō
≪概要≫ 車両が出せる最高車速の設定を行います。 ≪注意≫ 車速の下限値は、各車両以下の通りです。 大型車両:時速35km 中型車両:時速50km その値以下に設定した場合は無効になります。	
Ok 🚺 ‡+>/セル 📔 🚺 🚺	

〈図:確認メッセージ画面 車速設定〉

3) DOWN UP ボタンで車速値を変更することができます。 <sup>変更</sup>ボタ

ンを押すと最大値に表示されている値を設定します。

Iンシン > 車;	速設定			+ Ö
[DOWN/UP]7 [変更]ホッンを持	「沙ンを押すと、任意 押すと最大速度が影	で最高速度) 没定されます。	が変更ができます。	
項目 最高車速	現在値 80	最大値 80	単位 km/h	
変更		UP	<b>キャンセル</b>	

〈図:モニター画面 車速設定〉

4) 車速設定を終了する場合は キャンセル ボタンを押してください。

▶ エンシン > 車速書	淀			+ D
[DOWN/UP]ホ沟 [変更]ホ沟ンを押す	ンを押すと、任意 なと最大速度が影	で最高速度 定されます。	が変更ができます。 ,	
項目 最高車速	現在値 85	最大値 85	単位 km/h	
変更	DOWN	UP	キャンセル	

〈図:モニター画面 車速設定〉

≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫

### ※注意と補足※

・ 基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

≪作業サポート「エア抜き」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『エア抜き』を選択して (\*\*\*\*\*\*) ボタンを押して ください。

■診断メニュー > ABS	<b>←</b> ₫
<ul> <li>エア抜き</li> </ul>	•
•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『エア抜き』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、

──牀ヘ── ボタンを押して作業を進めてください。

▶ ABS > I7抜き	<b>←</b> [0]
デュトロ・レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します エア抜き方法について以下に示します	
1.事前準備 (1)フルーキフルードをリザーハーにMAXラインまで補充します	
(2)エンシンを始動し、フルード交換作業中はアイトリングを保ちます	
≪注意≫ フロント側あるいはリヤ側のフルーキラインの作業が終了してから反対側のフルーキラインの 作業をしてください	

〈図:メッセージ画面 エア抜き〉

※注意と補足※

デュトロ、レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します。

実施方法に従い作業をしてください。

≪作業サポート「モード使用頻度」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『モード使用頻度』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを 押してください。

■診断メニュ	ב∽ > プロシフト	+ 0
•	━ モード使用頻度	•
•	➡ 時計セット	•
•		

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『モード使用頻度』の概要が表示されます。搭載されているプロシフトを確認し、
  - \_\_\_\_\_7 または \_\_\_\_12M ボタンを押して作業を進めてください。

プロシフト > モ	ド使用頻度				+ 0
≪概要≫ モード使用頻度 必要があれば、	とリセット履歴の モード使用頻度	確認を行います。 のリセットを行いる	。 ます。		
確認するプロシ:	フトを選択してくだ	₹(1 <sub>0</sub>			
[ 7M ]	12M	キャンセル			

〈図:メッセージ画面 モード使用頻度〉

3) メッセージ画面が表示されますので、 ペー ボタンを押してください。

🕨 プロシフト > モー	ド使用頻度	← 0
≪概要≫ モード使用頻度。 必要があれば、3	▶ メッセージ <sup>*</sup>	
確認するプロシフ	プロシフト7M(7段)が選択されました。 搭載されているシステムと異なるシステムを選ぶと、 モード使用頻度が正常に表示されません。	
	Ok         ##>>EH           +#>>EH	

〈図:システム確認画面 モード使用頻度〉

4) モード使用頻度が表示されます。

リセット履歴を確認する場合は Color ボタンを押してください。

モード使用頻度の確認のみの場合は<u>キャンセル</u> ボタンを押してメニュー画面に 戻ります。

▶ プロシフト > モード使用頻)	贲			+ O
モード使用頻度を表示しま	す。			
	1.Dパワー 2.Dエコノ 3.Hパワー 4.Hエコノ	45 % 5 % 44 % 6 %	273 H 32 H 264 H 36 H	
	[OK]を押すとりセ [キャンセル]を押すと	ット履歴を表 とメニュー画配	示します。 面に戻ります。	
Ok キャンセル	キャンセル			

〈図:確認画面 モード使用頻度〉

5) リセット履歴が表示されます。

モード使用頻度をリセットする場合は \_\_\_\_\_ ボタンを押してください。

リセット履歴の確認のみの場合は<u>キンセル</u> ボタンを押してメニュー画面に戻り ます。

▶ プロシフト > モード使用頻度	+ D
リセット履歴を表示します。	
リセット 11 年 07 月 31 日 23 時 59 分 現在 12 年 01 月 03 日 23 時 40 分	
モード使用頻度をリセットする場合、[OK]を押してください。 メニュー画面へ戻る場合、[キャンセル]を押してください。	
Ok ++>>tu ++>>tu	

〈図:リセット履歴確認画面 モード使用頻度〉

6) リセット履歴が完了したら **ペー** ボタンを押してください。

> 7°ロシフト > 4	ード使用頻度			+ 0
リセット履歴が [OK]を押して	完了しました。 ください。			
Ok	キャンセル	キャンセル		

〈図:リセット履歴完了画面 モード使用頻度〉

≪作業サポート「時計セット」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『時計セット』を選択して (\*\*\*\*\*) ボタンを押し てください。

●診断メニ.	ב− > フᠲシフト	+ 0
•	→ モード使用頻度	•
	👄 時計セット	•
•		

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『時計セット』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、
  - \_\_\_\_\_ ボタンを押して作業を進めてください。

▶ プロシフト > 時計セット		+ D
≪概要≫ ECU内蔵時計のセットを行います。 ≪注意≫ IG ON、エンシン停止中のみ実行できます。 車両状態を確認してください。		
Ok	I	

〈図:メッセージ画面 時計セット〉

3) ECUIC内蔵された現在の時刻が表示されます。

この場合は 2012年1月3日23時41分 を示しています。

▶ プロシフト > 時計セット	KEYBO	ARD	
見在の時刻を入力してください。 年は西暦の下2桁を入力してください。	1	2	3
時間は24H表示で入力してください。 入力が完了したら、[OK]を押してください。	4	5	6
中止する場合は[キャンセル]を押してください。 年 日 日	7	8	9
	-	O	
<u>時</u> <u>分</u> 分	<	-	Enter
Ok ++>/7/			

〈図:ECU内蔵時刻表示 時計セット〉

時刻を修正する場合は、下の修正画面を参考にKEYBOARDを押して正しい時 刻を入力してください。この場合は 2012年2月1日12時00分 を示しています。 入力が終了したら、 \_\_\_\_\_ ボタンを押して作業を進めてください。



〈図:修正画面 時計セット〉

4) 書き込み中の画面が表示されます。

▶ プロシフト > 時計セット	+ D
書き込み中です。 この作業には時間がかかる場合があります。 しばらくお待ちください。	
Ok 「キャンセル 】	

〈図:メッセージ画面 時計セット〉

5) セットされた時刻が表示されます。

入力された時刻が正しく表示されていれば **こ** ボタンを押して時計セットを終了します。

▶ プロシフト > 時計セット		+ <b>0</b>
書き込みが完了しました 表示されている時刻が入力した時刻と異 [キャンセル]を押してもう一度時刻セットを行	なる場合、 テってくだざい。	
12 年 02 月	01日 12時 0	0 分
Ok <b>*</b> +>ンセル	I	

〈図:メッセージ画面 時計セット〉



1)診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して「\*\*\*\* ボタンを押して下さい。

●診断メニュ	.~ > Iンジン	+ 0
•	● データ表示	• •
	<ul> <li>保存 データ表示</li> </ul>	•
	👄 アクティブテスト	•
~	● 作業サポート	•
•	● 識別情報表示	

〈図:診断メニューにて識別情報表示を選択〉

2) 識別情報が表示されます。



〈図:識別情報表示画面〉

#### ※注意と補足※

上記の画面はエンジンシステムの識別情報表示画面です。

表示される内容は選択するシステムによって異なります。



株式会社 インターサポート

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町329-5 Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609 http://www.inter-support.co.jp

# 製品保守センター

(修理のお問合せはこちら) Tel 029-304-0185

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル<sup>※</sup>) Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年4月発行 第13版 本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。 本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-16-13